



2020年度事業計画

# 一般社団法人沼津青年会議所

## 基本理念

和の精神で活動し

よりよい未来につなげる

## 基本方針

1. 地域の子どもたちの夢を育む
2. 総力をもって会員拡大に取り組む
3. 魅力ある青年会議所活動の発信
4. 組織力の強化

2020年度 沼津JCスローガン

和を以て<sup>とうと</sup>貴しとなす

## 2020年度 理事長所信

理事長 杉澤 研三

### はじめに

平成から令和に時代が移り変わり、日本は新しい世を迎えます。本年は56年ぶりにオリンピック・パラリンピックが東京で開催され、世界中の人々が日本を訪れスポーツのみならず世界から日本が注目されます。古来より日本には「和」の精神という文化があり、これまでも沼津青年会議所では様々な事業を通して「和」の精神を体現してまいりました。この「和」とは、相手を大切にし協力し合う関係であり、お互いに納得がいくまでしっかりと議論し、その上で協調するということです。これは「和を以て貴しとなす」と聖徳太子が制定した十七条憲法の第一条の冒頭にも書かれている言葉です。日本人はこの「和」を古くから大切にしてきました。この「和」の精神を基に、皆様と共に活動していく所存です。

### この地域の未来のために

「スポーツには世界と未来を変える力がある」2020年東京オリンピック・パラリンピックの大会ビジョンに掲げられている言葉です。スポーツは、世界共通の文化の一つであり、言語や生活習慣の違いを超え、同一のルールのもとで互いに競うことや、サポーターとして支えることなどにより、世界の人々との相互理解や認識を一層深めることができるなど、国際的な友好と親善に貢献し、人と人をつなぐ架け橋になっています。沼津青年会議所はまちづくりの一環として、これまで青少年育成にも注力してきました。その中でスポーツは青少年の心身の健全な発達を促し、特に自己責任、克己心やフェアプレーの精神を培うとともに、仲間や指導者との交流を通じて、青少年のコミュニケーション能力を育成し、豊かな心と他人に対する思いやりの心を育みます。また、スポーツを楽しむことで様々な要因による子どもたちの心のストレス解消にもつながり、多様な価値観を認めあう機会を与えるなど、青少年の健全な育成になくてはならないものです。「スポーツには世界と未来を変える力がある」というように、これからの地域を、そして日本を牽引する子どもたちに、スポーツを通して多くの学びを得る機会を提供します。

### 会員の拡大

青年会議所は「明るい豊かな社会」の実現に向けて、同世代の志を同じくする多くの仲間と様々な議論を交わし、共に事業を行うことを通じて会員一人ひとりが成長することができる団体です。しかし、全国的に会員数は減少傾向にあり、沼津青年会議所の会員数も同様に減少の一途を辿っています。会員数が多ければ多いほど多種多様な意見に触れることができ、自分自身の価値観と異なる考え方にも触れることができます。そのような中で、新しい気づきを得ることが個の成長にも繋がります。また、共に活動できる仲間が増

えるということは、今よりも更にこの地域の問題解決に取り組む人材が増えるということでもあります。会員の拡大はL O Mや地域の活性化に繋がります。今まで以上に会員の拡大に取り組む一年とし、仲間を増やすことを誰かに任せるのではなくメンバー全員で行います。

### 思いを伝え共感者を増やす

青年会議所の活動を今以上に広げていくには、地域の理解者や協力者を増やす必要があります。現在、様々な媒体で情報を発信することができます。しかし、発信するだけでは伝えたい相手に伝えたい情報を届けられているとはかぎりません。そこで重要なのは「伝える」ではなく「伝わる」ことです。私たちが地域のために行っている事業をより適切に発信することができれば、地域の理解者や協力者を増やすことができます。そのために必要なことは、誰に何を伝えるのかを明確にすることです。何も考えずに、自分の伝えたいことを一方的に発信しても受け取ってくれる人はいません。「誰」に伝えたいかを考え、相手のことを考え、相手にあった言葉を使い、「何を」伝えたいのかを考えて発信する必要があります。相手に伝わり興味や共感をもってもらえる「伝わる」広報活動を行います。

### より活力ある組織となるために

近年、会員数の減少により委員会の担いが増えていくことは間違いないでしょう。担いが増えたことで、日々の業務に追われ後手にまわってしまうことがあります。そのようなにならないためには、事前の準備が大切です。事前の準備を行えば余裕ができ、より細かい部分にまで気を配ることができます。事前の準備を確実に行うためには、委員会メンバーが協力し合い取り組む必要があります。戦国武将毛利元就の『三矢の教え』という言葉があり、一本の矢は簡単に折れてしまうが、三本の矢を束ねるとそう簡単には折れない。一人では難しい事も仲間と心をつなげて乗り越えることができる。だから仲間との協力が大切であるという意味です。一人ひとりが受け身ではなく、積極的に活動し、委員会メンバー全員で事業を行うことで、自分では気づかなかったことや知らなかったことが気づきとして成長に繋がります。メンバー同士の結束も強くなります。委員会の運営を活性化させ組織全体も活性化させます。また本年度は、第53回静岡ブロック大会が沼津主管で行われます。沼津青年会議所の組織力を活かし大会の成功に寄与します。

### さいごに

青年会議所では、「できるかできないか」ではなく「やるかやらないか」とよく言われてきました。できないことを考えても何も成長は望みません。やると決め、できないことに挑戦し向かっていくには共に活動している仲間と相談することが重要です。自分が困った時に助けてくれる仲間がいることが人生において大切なことだと思います。そこに気づかせ

てくれたのが青年会議所であり、そのような仲間を作ることができるのも青年会議所です。仲間を大切にし、仲間を増やし、今以上に「和」を大切にしていける明るい豊かな社会の実現に向けて活動してまいります。一年間どうぞよろしくお願いいたします。











# 出 向 者

## ◎静岡ブロック協議会 出向者

静岡ブロック大会実行委員会	委 員 長	鈴木 宏和
	会 計 幹 事	芹澤 俊和
静岡の未来創造委員会	副 委 員 長	山下 太一
希望溢れる静岡創造委員会		小野 大輔
		高木 隆太

## ◎行政等委任委員

エフエムぬまづ株式会社 取締役	理 事 長
沼津駅の高架化を実現する市民の会 副会長	理 事 長
燦々ぬまづ推進委員会	理 事 長
公益財団法人沼津市振興公社 理事	理 事 長
沼津市社会福祉協議会 評議員	理 事 長
沼津市勤労青少年ホーム運営審議会	理 事 長
沼津市「社会を明るくする運動」実施委員会	竹 村 俊 克
沼津市特別職報酬審議会 委員	竹 村 俊 克
沼津市緑化推進協議会	竹 村 俊 克
沼津の森実行委員会	竹 村 俊 克
沼津駅高架化を実現する市民の会 事務局	竹 村 俊 克
沼津市夏まつり実行委員会灯ろう流し部会長	中 沢 文 昭
沼津市暴力追放推進協議会 監事	中 沢 文 昭
沼津国際交流協会 理事	中 沢 文 昭
沼津市行政改革推進委員会	中 沢 文 昭
環境保全審議会ゴミ対策	中 沢 文 昭
沼津市市民憲章推進協議会	専 務 理 事
エフエムぬまづ番組審議委員会	専 務 理 事
沼津市明るい選挙推進協議会	専 務 理 事
沼津共同募金委員会 運営委員	専 務 理 事
沼津夏まつり実行委員会	専 務 理 事
第4次沼津市地域福祉計画策定懇話会	専 務 理 事

## 2020年度例会担当表

月	総 会		第1例会	
1			8 (水)	会員拡大特別会議 新年賀詞交歓会
2	7 (金)	総務・財務委員会 定時総会	7 (金)	総務・財務委員会 定時総会
3			16 (月)	渉外・広報委員会 東部9JC合同公式訪問例会
4			8 (水)	会員拡大特別会議 沼津JCデー
5			8 (金)	会員・研修委員会
6			25 (木)	渉外・広報委員会 とうかい号下船報告会
7			17 (金)	会員拡大特別会議 狩野川灯ろう流し
8	7 (金)	総務・財務委員会 定時総会	7 (金)	総務・財務委員会 定時総会
9			6 (日)	渉外・広報委員会 第53回静岡ブロック大会
10			8 (木)	会員・研修委員会 新入会員育成セミナー最終会議
11			6 (金)	会員拡大特別会議
12	1 (火)	総務・財務委員会 定時総会	8 (火)	会員・研修委員会 卒業式・卒業生を送る会

### 定例会議・委員会日

会合日		会 合 名	時 間	場 所
第1水曜日		正副理事長会議	19:00 ~ 21:00	JCルーム
第3水曜日		理事会	19:30 ~ 21:30	JCルーム
8日		第1例会		
各月末日		財務審査	19:00 ~ 21:00	JCルーム
定例会議日	第3木曜日	会員拡大特別会議	19:00 ~ 21:00	JCルーム
	毎月22日	総務・財務委員会	19:00 ~ 21:00	
	第4水曜日	会員・研修委員会	19:00 ~ 21:00	
	第4火曜日	渉外・広報委員会	19:30 ~ 21:30	

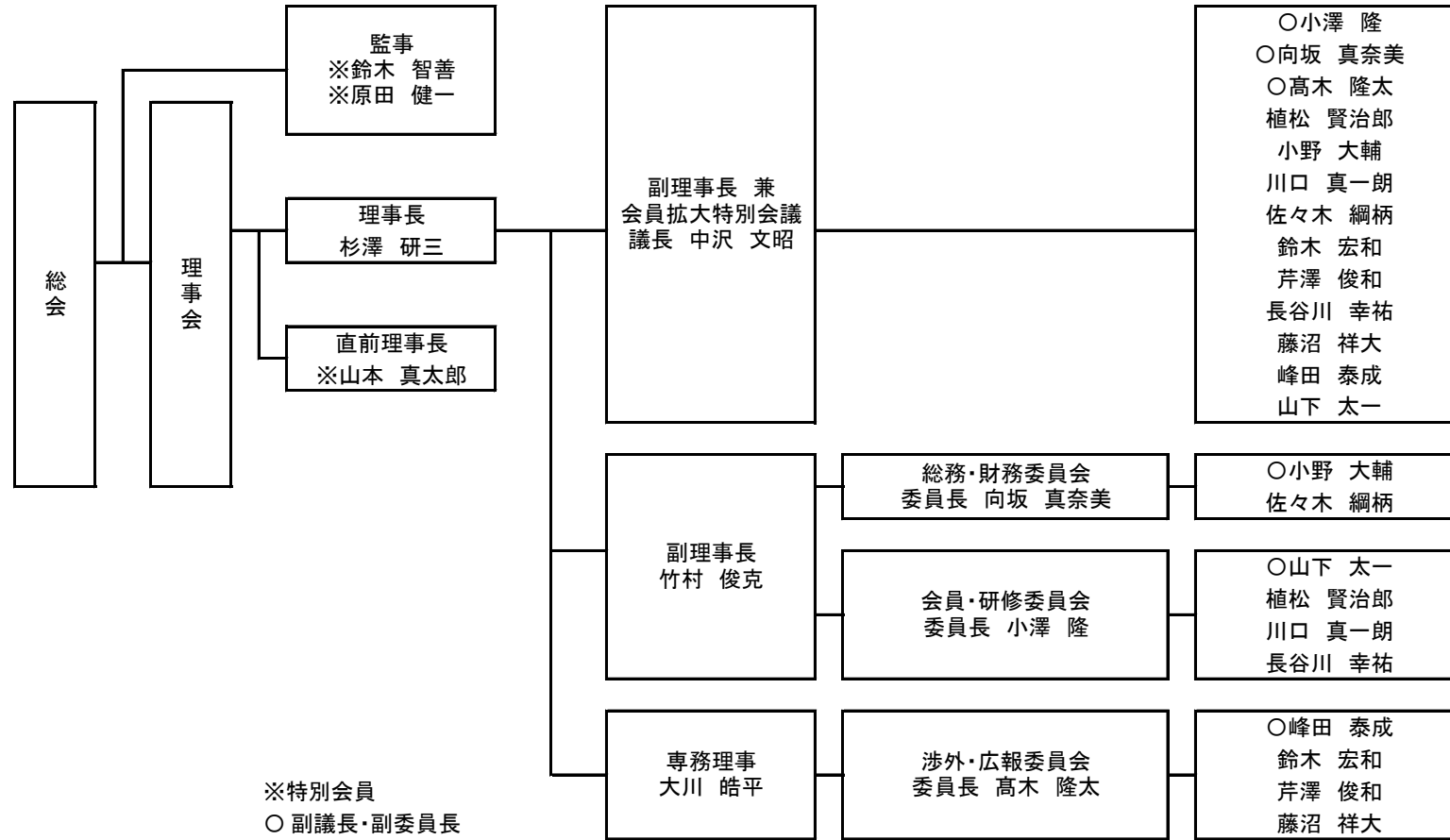
28日	JCルーム清掃日	19:00 ~ 21:00
-----	----------	---------------

## 2020年度 公式日程

	日本JC・JCI	東海地区	静岡ブロック	記念式典	例会等	理事会
1月	16(木)～19日(日) 京都会議 18日(土) 総会 (京都)				8日(木) 第1例会 賀詞交歓会	15日(水)
2月	日(金)～日(日) 金沢会議 (金沢)		2日(日) 第1回会員会議所会議 第1回出向者合同会議 (熱海)		7日(金) 第1例会 定時総会	19日(水)
3月	28日(土) 総会 (東京)		22日(日) 第2回会員会議所会議 (熱海)		16日(月) 第1例会 東部9JC合同 公式訪問例会	18日(水)
4月		29日(水) 第47回JC青年の船 「とうかい号」結団式			8日(水) 第1例会 沼津JCデー	15日(水)
5月		30日(土)～6月6日(土) 第47回JC青年の船 「とうかい号」 (台湾 台北)	6日(水) 第3回会員会議所会議 (熱海)	23日(土) 島田JC55周年 記念式典	8日(金) 第1例会	20日(水)
6月	11(木)～14日(日) JCI ASPAC (カンボジア アンコール)		28日(日) 第4回会員会議所会議 (熱海)		25日(木) 第1例会 とうかい号下船報告会	17日(水)
7月	18(土)～19日(日) サマーコンファレンス (横浜)	日(日) 東海フォーラム (岐阜)			17日(金) 第1例会 狩野川灯ろう流し	15日(水)
8月					7日(金) 第1例会 定時総会	19日(水)
9月	24(木)～27日(日) 全国大会札幌大会 25日(金) 総会 (札幌)		5日(土) 第5回会員会議所会議 (沼津) 6日(日) 第53回静岡ブロック大会 (沼津)	未定 裾野JC50周年 記念式典	6日(日) 第1例会 第53回静岡ブロック大会	16日(水)
10月			25日(日) 第6回会員会議所会議 第2回出向者合同会議 (浜松)		8日(木) 第1例会 新入会員育成セミナー	21日(水)
11月	3日(火)～7日(土) JCI 世界会議 (日本 横浜)			1日(日) 焼津JC50周年 記念式典	6日(金) 第1例会	18日(水)
12月			8日(火) 第7回会員会議所会議 (在宅)		8日(火) 第1例会 卒業式 1日(火) 定時総会	16日(水)

# 一般社団法人沼津青年会議所

## 2020年度 組織図



# 特別會員

59	故 岡田 剛武 (19年永眠)	一場 道彦 岩崎 英一 近藤 剛 酒井 吉彦 三高 正明 関原 規由 堤 正喜 長澤 芳明 故 久松 繁 (99年永眠)	後藤 健 佐藤 直毅 庄司 邦夫 外 信之 田中 治之 牧野 栄一郎 山口 和一 山田 和彦	01	市川 浩康 植松 清仁 荻原 誠 小野 弘人 加藤 功 白壁 圭一 高橋 卓己 平野 裕行 吉野 聖一 渡辺 周	09	芦澤 剛彦 故 小笠原 啓之 (17年永眠) 柴田 博司 土屋 雅一 土屋 雄一朗 堤 昭人 武藤 政敏 室伏 誠		
60	故 宇野 紳七郎 (03年永眠)	菊地 俊雄 佐藤 徳太郎 故 佐藤 亘弘 (07年永眠)	88	井草 基之 故 岩崎 一弘 (13年永眠)	02	石渡 慎一 小出 隆太 近藤 浩志 齋藤 一臣 齋藤 哲一 庄司 泰隆 鈴木 孝司 中江 章喜 服部 喜和 平山 晴久 松下 智美 榎原 紀代一 村山 知亮 山本 宣司	10	井草 雅彦 小笹 真也 川口 浩一 (19年永眠) 芹澤 剛 原田 浩 松田 一哉 米山 健	
61	故 野田 修 (15年永眠)	故 平山 義人 (98年永眠)	89	赤堀 肇紀 居山 直行 影島 山弘 加藤 修一 栗田 恵市 榎井 康雄 庄司 喜一郎 田代 功 藤江 浩 森田 州治 山口 和也	03	池田 宏明 伊藤 隆太 大村 英彰 奥村 泰宏 小野 茂 小野 博文 加藤 元章 金子 俊道 川口 博 國武 賢一 後藤 正樹 清水 英一郎 鈴木 誠 故 吉川 直人 渡邊 豊	11	金子 恭子 軍司 芳孝 小早川 幸磁 榎原 優子 二俣 延行	
62	故 高橋 明 (15年永眠)	故 山田 喜万 (16年永眠)	90	芦川 豊 故 稲木 祥雄 (12年永眠)	04	青木 秀実 青嶋 隆憲 池田 康男 池田 由佳 石川 佐和子 市川 道隆 岸本 隆一 小林 恵美子 小林 俊彦 近藤 孝 高木 浩 永田 光浩 福室 健一郎 室伏 強 安江 智昭	12	種田 善一 小平 賢一 菅沼 俊介 諏訪部 稔 半田 健治 渡邊 勝也	
63	故 山内 益次郎 (06年永眠)	故 吉田 修 (93年永眠)	91	板井 義文 佐川 康夫 勸山 光明 高村 誠 土佐谷 和貴 山下 光彦	05	飯田 太志 大石 将勝 金澤 智幸 工藤 俊彦 栗原 卓也 杉山 雅樹 清谷 登 露木 浩 山口 育男	13	小山 弘道 諏訪部 剛志 高木 恵市 橋 泰正 山田 奈帆美 米元 孝一	
64	故 中山 欽司 (94年永眠)	故 近藤 安敏 (16年永眠)	92	岩下 龍雄 故 植松 郁男 (03年永眠)	06	井出 尚武 大城 一真 岡田 貴之 原 政彦 平野 正裕 前田 泰広	14	勝又 康充 柴田 常有 曾布川 麻紀子 多久島 正邦	
65	故 石川 三雄 (90年永眠)	杉山 実 故 名取 賢吉 (17年永眠)	93	故 石原 正和 (18年永眠)	07	伊海 康之 植松 豊 木村 守 小林 太郎 榎原 晃 白壁 浩之 鈴木 克実 清水 基 常峯 孝幸 松本 優紀子 三須 王左武	15	池田 高士 加藤 明子 川口 真澄 児島 佳代 杉澤 教人 園田 勝 十八公 淨滋 長島 玲美 宮下 秀人	
66	友森 寛	真島 秀行	94	故 原 正和 (18年永眠)	08	伊藤 謙孝 居山 哲也 岩井 茂樹 小畑 秀明 倉田 裕之 原川 宣与 藤島 章弘 山下 和信 渡辺 迅	16	遠藤 啓太 大村 健一 岡田 貴幸 勝俣 孝明 木村 友一 鈴木 一範 鈴木 智善 武田 始久 土田 智 宮内 保昌 村松 弘充 森 拓也 剛嗣	
67	故 大井 一郎 (16年永眠)	秋山 芳生 小川 義次 影山 桓義 故 桑原 史雄 (96年永眠)	95	故 松本 正之 (90年永眠)			17	海野 雅貴 佐藤 将行 佐野 雅文 藤原 維仁 八木 航一	
68	故 辻 昌吉 (05年永眠)	故 鈴木 皓一朗 (02年永眠)	96	石井 裕 遠藤 利彦 佐々木 敏祐 杉山 由博 鈴木 延孝 鈴木 正之 松井 泰樹			18	天野 健太郎 小野 好之 上 哲也 木村 昌宏 後藤 裕 長橋 良 中村 謙介	
69	水口 昌夫	79	89	石川 雄一郎 井村 和弘 尾和 康男 影島 山弘 加藤 修一 栗田 恵市 榎井 康雄 庄司 喜一郎 田代 功 藤江 浩 森田 州治 山口 和也			19	伊藤 康広 金子 直史 清水 孝文 原田 健一 細溝 剛久 山本 真太郎	
70	故 大井 一郎 (16年永眠)	小川 義次 影山 桓義 故 桑原 史雄 (96年永眠)	97	金澤 清文 上 精一郎 故 近藤 恒二郎 (01年永眠)					
71	故 白壁 敏夫 (06年永眠)	故 桑原 史雄 (96年永眠)	98	故 秋山 佳彦 (17年永眠)					
72	故 中川 茂男 (03年永眠)	故 高村 光治 (16年永眠)	99	福葉 茂 梅島 佐一 遠藤 豪 長田 健一 柏木 雅博 上條 篤士 木村 光正 工藤 政則 久保田 実 近藤 千秋 後藤 竜樹 斉藤 和子 塩崎 栄一 (04年永眠)					
73	故 保坂 静夫 (15年永眠)	持田 真幸	00	井口 清 大野 哲広 大場 公嘉 岡元 貴宏 柏木 剛示 木村 幸男 小林 龍司 鈴木 俊史 鈴木 康哲 芹沢 一幸 竹内 純子 徳田 和人 土井 宣博 中野 幸浩 野秋 和弘 服部 敏一郎 服部 隆利 福島 洋一郎 横山 政遵					
74	故 伊藤 豪俊 (09年永眠)	小笹 皓平 小林 健次郎 白鳥 篤 故 南谷 直美 (19年永眠)	01	故 松本 正之 (90年永眠)					
75	故 安田 昌訓 (93年永眠)	小笹 皓平 小林 健次郎 白鳥 篤 故 南谷 直美 (19年永眠)	02	故 松本 正之 (90年永眠)					
76	故 遠藤 康昌 (02年永眠)	故 浅見 正昭 (13年永眠)	03	故 松本 正之 (90年永眠)					
77	故 遠藤 康昌 (02年永眠)	故 浅見 正昭 (13年永眠)	04	故 松本 正之 (90年永眠)					
78	故 大川 正夫 (12年永眠)	故 近藤 安敏 (16年永眠)	05	故 松本 正之 (90年永眠)					
79	故 大井 一郎 (16年永眠)	小川 義次 影山 桓義 故 桑原 史雄 (96年永眠)	06	故 松本 正之 (90年永眠)					
80	故 石井 種生 (16年永眠)	今井 俊之 諏訪部 恭一 持田 真幸	07	故 松本 正之 (90年永眠)					
81	故 伊藤 豪俊 (09年永眠)	小笹 皓平 小林 健次郎 白鳥 篤 故 南谷 直美 (19年永眠)	08	故 松本 正之 (90年永眠)					
82	芦川 稔 小笠原 一夫 金刺 勝 杉山 勲 宮沢 健二 村松 佳雄	80	故 石井 種生 (16年永眠)	09	故 松本 正之 (90年永眠)				
83	故 内野 鉄紀 (07年永眠)	故 小野 恭嗣 (12年永眠)	90	芦川 豊 故 稲木 祥雄 (12年永眠)	10	井草 基之 故 岩崎 一弘 (13年永眠)			
84	金崎 明弘 故 城所 延芳 (10年永眠)	後藤 靖雄 鈴木 隆義 高橋 浩 前田 唯良	91	板井 義文 佐川 康夫 勸山 光明 高村 誠 土佐谷 和貴 山下 光彦	11	金子 恭子 軍司 芳孝 小早川 幸磁 榎原 優子 二俣 延行			
85	宇野 統彦 杉山 宏幸 鈴木 敏 辻 進 土屋 照夫 長橋 和彦 野永 巖 村松 敏弘 渡辺 洋	81	故 伊藤 豪俊 (09年永眠)	92	岩下 龍雄 故 植松 郁男 (03年永眠)	12	種田 善一 小平 賢一 菅沼 俊介 諏訪部 稔 半田 健治 渡邊 勝也		
86	榎原 進 故 佐々木 浩男 (16年永眠)	佐藤 光義 故 鈴木 一信 (97年永眠)	93	故 石原 正和 (18年永眠)	13	小山 弘道 諏訪部 剛志 高木 恵市 橋 泰正 山田 奈帆美 米元 孝一			
87	故 浅見 正昭 (13年永眠)	故 浅見 正昭 (13年永眠)	94	綾部 恵市 石川 秀雄 江藤 晃好 大橋 英司 柏木 順孝 金井 隆直 神農 泰彦	14	勝又 康充 柴田 常有 曾布川 麻紀子 多久島 正邦			
88	石川 利郎 植松 哲 故 長田 豊久 (11年永眠)	木村 保成 栗田 満 向坂 義次 庄司 一洋 杉山 裕將 高橋 正 長橋 靖 日吉 照郎 故 本多 均 (13年永眠)	95	井草 基之 故 岩崎 一弘 (13年永眠)	15	池田 高士 加藤 明子 川口 真澄 児島 佳代 杉澤 教人 園田 勝 十八公 淨滋 長島 玲美 宮下 秀人			
89	赤堀 肇紀 居山 直行 影島 山弘 加藤 修一 栗田 恵市 榎井 康雄 庄司 喜一郎 田代 功 藤江 浩 森田 州治 山口 和也	90	芦川 豊 故 稲木 祥雄 (12年永眠)	96	石井 裕 遠藤 利彦 佐々木 敏祐 杉山 由博 鈴木 延孝 鈴木 正之 松井 泰樹	16	遠藤 啓太 大村 健一 岡田 貴幸 勝俣 孝明 木村 友一 鈴木 一範 鈴木 智善 武田 始久 土田 智 宮内 保昌 村松 弘充 森 拓也 剛嗣		
90	芦川 豊 故 稲木 祥雄 (12年永眠)	大池 誠実 木村 雅志 鈴木 啓司 故 高橋 新一 (07年永眠)	97	石川 雄一郎 井村 和弘 尾和 康男 影島 山弘 加藤 修一 栗田 恵市 榎井 康雄 庄司 喜一郎 田代 功 藤江 浩 森田 州治 山口 和也	17	海野 雅貴 佐藤 将行 佐野 雅文 藤原 維仁 八木 航一			
91	板井 義文 佐川 康夫 勸山 光明 高村 誠 土佐谷 和貴 山下 光彦	91	板井 義文 佐川 康夫 勸山 光明 高村 誠 土佐谷 和貴 山下 光彦	98	金澤 清文 上 精一郎 故 近藤 恒二郎 (01年永眠)	18	天野 健太郎 小野 好之 上 哲也 木村 昌宏 後藤 裕 長橋 良 中村 謙介		
92	岩下 龍雄 故 植松 郁男 (03年永眠)	江本 宗昭 大嶽 輝晃 大嶽 稔裕 尾崎 敬治 加藤 進 工藤 恵子 後藤 正明 後藤 行宏 杉山 正則 鈴木 一郎 鈴木 典之 深瀬 和彦 望月 美樹 故 山内 一芳 (15年永眠)	98	金澤 清文 上 精一郎 故 近藤 恒二郎 (01年永眠)	19	伊藤 康広 金子 直史 清水 孝文 原田 健一 細溝 剛久 山本 真太郎			
93	故 石原 正和 (18年永眠)	井上 孝喜 尾澤 裕 小原 嘉弘 神部 藤男 五味 芳道 庄司 喜則 辻村 浜夫 平林 秀夫 前田 章 前田 耕輔 望月 達也 山本 豊一	99	故 秋山 佳彦 (17年永眠)	00	井口 清 大野 哲広 大場 公嘉 岡元 貴宏 柏木 剛示 木村 幸男 小林 龍司 鈴木 俊史 鈴木 康哲 芹沢 一幸 竹内 純子 徳田 和人 土井 宣博 中野 幸浩 野秋 和弘 服部 敏一郎 服部 隆利 福島 洋一郎 横山 政遵			
94	綾部 恵市 石川 秀雄 江藤 晃好 大橋 英司 柏木 順孝 金井 隆直 神農 泰彦	94	綾部 恵市 石川 秀雄 江藤 晃好 大橋 英司 柏木 順孝 金井 隆直 神農 泰彦	00	井口 清 大野 哲広 大場 公嘉 岡元 貴宏 柏木 剛示 木村 幸男 小林 龍司 鈴木 俊史 鈴木 康哲 芹沢 一幸 竹内 純子 徳田 和人 土井 宣博 中野 幸浩 野秋 和弘 服部 敏一郎 服部 隆利 福島 洋一郎 横山 政遵				

## 入会年度年齢表

09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	生年 (年齢)	卒業 人数
虫沢							佐々木				80 (39)	2
						杉澤	鈴木				81 (38)	2
					長谷川						82 (37)	1
						山下				芹澤	84 (35)	2
	向坂			植松				小澤	川口		85 (34)	4
		竹村									86 (33)	1
							大川				87 (32)	1
							峰田				88 (31)	1
									藤沼		89 (30)	1
							高木				90 (29)	1
										小野	92 (27)	1

※アンダーバーは早生まれ